

日本ビジネス航空協会 会報

2024 年 10 月号



JBAA JAPAN BUSINESS AVIATION ASSOCIATION
一般社団法人 日本ビジネス航空協会

CONTENTS

- ◇ 会員紹介 1 ページ
朝日航洋株式会社

- ◇ JBAA HP ACCESS 実績（更新停止のお知らせ） 6 ページ

朝日航洋株式会社

朝日航洋株式会社は、「空にさきがけ 未来をひらく」の理念のもと、ヘリコプターとビジネスジェット機を軸とした「航空事業」、国内屈指の計測技術を駆使した「空間情報事業」という、2つの事業を核に、60年以上実績を積み重ねてきました。

航空事業では、民間ヘリコプター業界最大手の運航会社として、救急医療の現場で長年の実績を誇る航空医療搬送の運航や、地上からの接近が困難な山間地や海上への旅客及び物資の輸送などを幅広く展開。また、運航分野のみならず、機体整備や訓練事業なども行う、ヘリコプターとビジネスジェットを用いた総合運航サービスを提供しています。

空間情報事業では、音波や電磁波といった最先端のデジタルセンサーを用い、使用目的に合った計測技術（航空レーザ計測、モービルマッピングシステム、海底探査など）と解析技術と融合させた高精度な空間データを作成・提供し、国土保全・行政支援・社会インフラの維持等に寄与しています。

【会社概要】

会 社 名：朝日航洋株式会社

本社所在地：東京都江東区新木場四丁目7番41号

代 表 者：代表取締役社長 加藤 浩士

創 業：1955年7月20日

従 業 員：1,346人（2024年4月1日現在）



【会社沿革】

1955年	朝日航空株式会社 創立
1956年	朝日ヘリコプターに社名変更
1957年	黒四ダム建設 ヘリコプターによる物資輸送
1964年	気象庁富士山山頂レーダードーム ヘリコプターによる輸送設置
1968年	インドネシアで石油開発支援飛行
1988年	沖ノ島島国土保全工事支援
1989年	第31次南極観測隊支援飛行
1997年	トヨタ自動車株式会社の子会社／ビジネスジェット運航開始
1999年	ビジネスジェットによる国際運航事業認可取得
2000年	厚生省ドクターヘリ試行的事業に参画
2011年	東日本大震災緊急運航（1日最大33便を運航）

2014年	中距離ビジネスジェット（セスナ680）導入により東南アジアにもアクセスが可能（本邦初）、ビジネス航空業界の国際認証「IS-BAO」を取得
2017年	国内のヘリ運航会社で初めてヘリ専用の飛行訓練装置（Flight Training Device）を導入
2018年	南鳥島 JAXA「こうのとりのこり」無人宇宙輸送船の回収カプセルを当社のビジネスジェットで輸送
2019年	再生エネルギー洋上風力発電施設へ、ヘリコプター人員吊下げ輸送実験 運航実施
2022年	大阪府で実施のエアモビリティ統合運航管理実証実験に参画

【使用機材】

C680サイテーション・ソブリン

- ・巡航速度：852 km/h
- ・乗客数：最大8名 ※運航区間、気象状況、搭載重量等の諸条件により制限あり。
- ・航続時間：5.0 h
- ・航続距離：5,200 km
- ・エンジン：双発

巡航速度は、国内定期航空運送事業を行う航空会社の機材と同等であり、韓国、中国東部（上海、北京など）や台湾にも届く航続距離がメリットです。

離陸距離が1,076m、着陸距離が792mであることから、国内で数多くの空港を利用することができ、お客様のご要望にお応えしやすい性能を備えています。



【当社の強み】

■安全で快適な航空運送事業のために

国際的な安全監査の基準 I S - B A O を取得しており、世界の運航会社と同等の安全基準を確保しています。

日本ビジネス航空協会会員の正規会員でもあり、日々率先して高い安全性の確保と、お客様の快適なフライトのお手伝いをしています。



■ビジネスジェット&ヘリのコンビネーション

空港間をビジネスジェットで、さらに最寄り空港から目的地へのピンポイント移動はヘリコプターで、といったヘリとジェットのコンビネーションフライトも、当社が保有する機材からアレンジ可能です。



■航空医療搬送

医師・看護師を乗せたビジネスジェット（プライベートジェット）で患者様は横になったままに、短時間での転院、移動が可能です。

海外で怪我をした、あるいは病気になった方々をビジネスジェットで搬送することが可能です。（制限あり）



■機内サービスのイメージ

機内ではお客様のご要望に応じ、お食事やお飲み物をご用意します。グルテンフリー・ハラルフードなど、お食事のリクエストもご相談を承っております。



【運航拠点について】

■ 県営名古屋空港（運用時間：0700～2200）

名古屋空港は開港以来、中部圏の玄関口として定期便の運航を支えてきましたが、航空需要の増大等から、2005年にその役割を中部国際空港に引き継ぎました。中部国際空港開港後は、愛知県が設置管理する名古屋飛行場、通称「県営名古屋空港」として、コミューター航空やビジネスジェット機などの小型機の拠点となっております。現在は、フジドリームエアラインズが国内定期便を運航しており、その他、自衛隊機及び小型機の飛行も数多く見られます。また、名古屋市内からのアクセス時間やビジネス機専用ターミナルが整備されていることから、ビジネス機を利用するお客様にとって、利便性の高い空港となっております。

■ SPOT 運用

弊社格納庫前にビジネスジェット機が利用可能な SPOT (14E～15A) が設置されており、自走での IN/OUT 可能となっております。また、駐機時間/日数に制限はありません。（長期間の駐機も可能となっております。）

■ ビジネス機専用ターミナル

名古屋空港ターミナルビル 1F に専用ターミナルを整備し、施設内に CIQ 検査場（出入国、検疫審査、税関審査、植物防疫・動物検疫審査カウンター）が設置しております。国際線の出入国審査は施設内で完了できる体制となっております。また、ビジネスジェット機用の SPOT までは、最短で 70 メートルです。



■ CIQ 体制

国際定期便が就航していないため、県営名古屋空港に CIQ 機関の常駐はありません。離着陸時間に合わせて各機関の職員が、ビジネス機ターミナルに出張し、出入国手続きを実施していただいております。また、CIQ 各機関には柔軟に対応していただいております。円滑な出入国手続きが行われております。

■ 自社格納庫

ビジネス機専用ターミナル北側に格納庫を構え、自社機の点検整備を行っております。



■ 国内便導線

格納庫に併設している搭乗待合室にて保安検査等を実施した後に、専用車両で機側までご案内しております。空港到着から最短 10 分で機内へご案内が可能です。

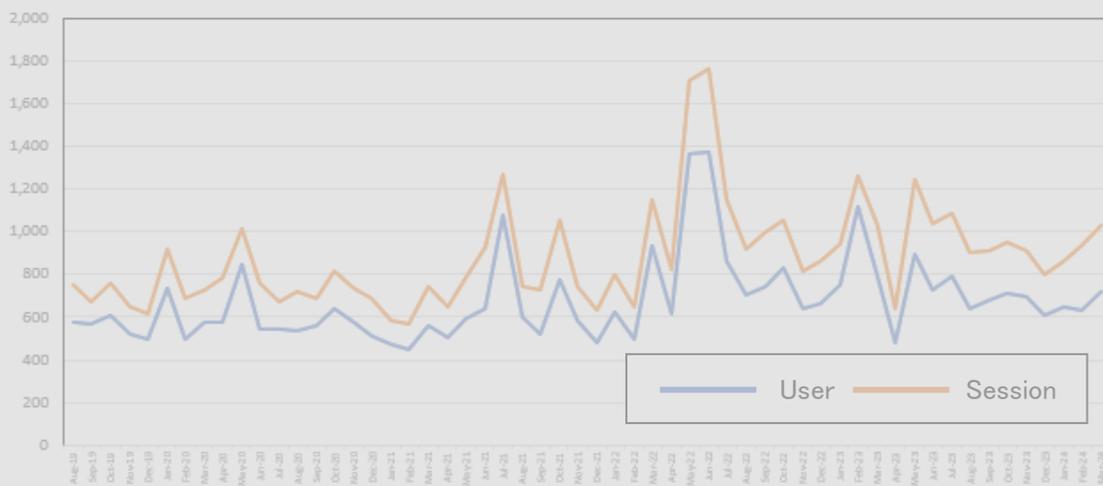


■ ハンドリング業務

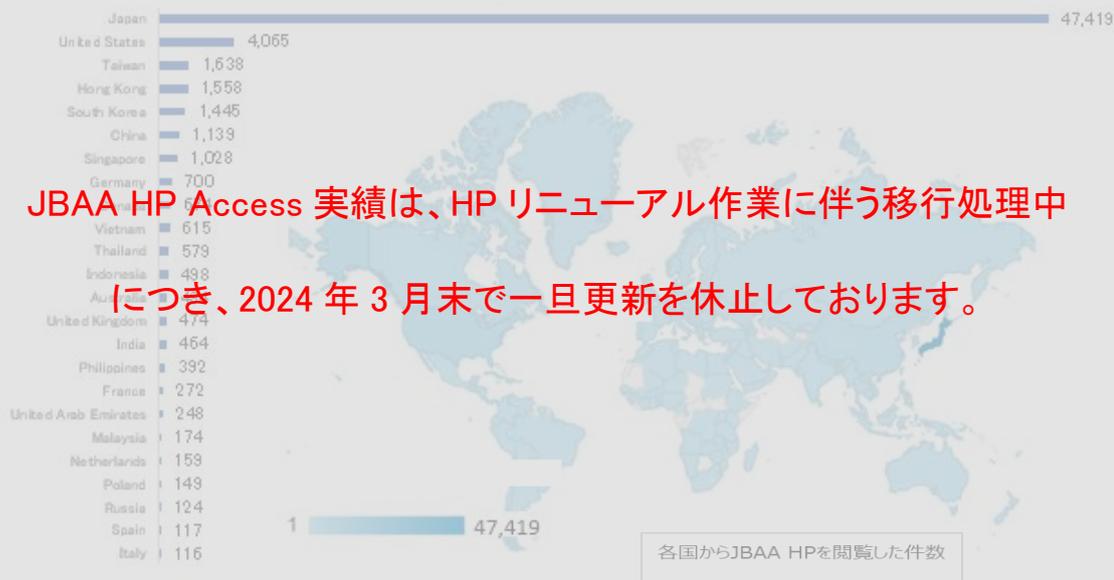
自社機のハンドリングのほか、他社機のハンドリング依頼にも対応しております。県営名古屋空港にお越しの際は、ぜひご利用下さい。ご連絡お待ちしております。

JBAA HP Access 実績

JBAA HP Access(2019.08.01-2024.03.31)

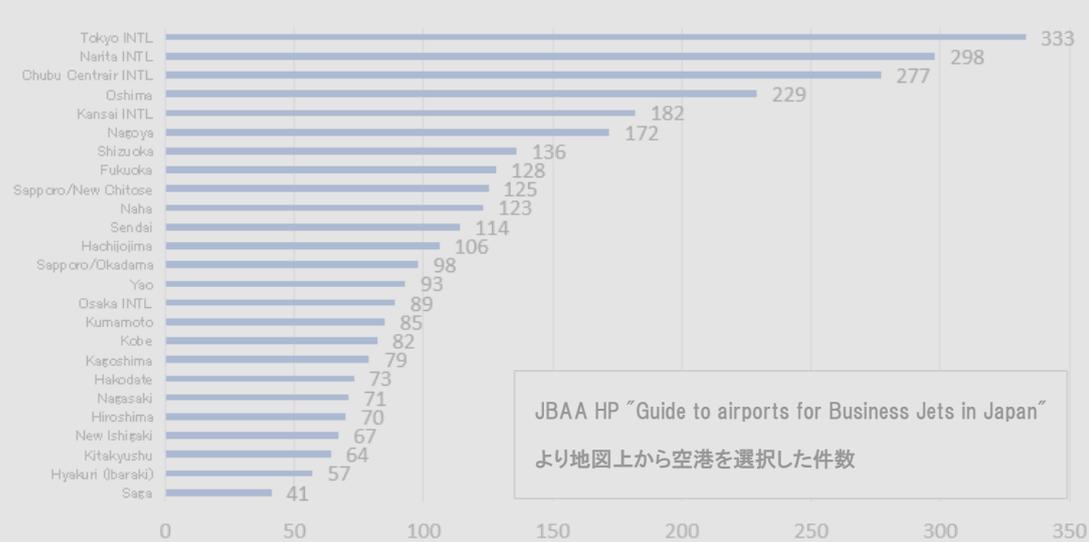


国別イベント数 Top 25 (2023.04.01 - 2024.03.31)



JBAA HP Access 実績は、HP リニューアル作業に伴う移行処理中につき、2024 年 3 月末で一旦更新を休止しております。

空港別アクセス数 Top 25 (2019.08.01 - 2024.03.31)



JBAA HP "Guide to airports for Business Jets in Japan" より地図上から空港を選択した件数